

メキャベツの試験

1. 試験目的

生産者収益の新規園芸品目に関する栽培試験を実施し、現場での適応性を確認する。

2. 圃場条件

土壌型	土性	排水性	前作
台地土	壤土	やや不良	人参

3. 試験方法

(1) 試験設置概要

播種日	定植日	収穫日
6/30	7/22	11/9

(2) 耕種概要

耕起	整地	整畦	株間	畦間	栽植密度
			cm	m	株/10a
前年秋	7/17	1条高畦	60	1.2	1,388

銘柄	施肥					施用日
	要素別施用量 (kg/10a)					
	N	P	K	Mg	B	
BBS611L	30.4	20.9	20.9	3.8	0.19	7/17

(3) 区制および区の内容

/区				反復
面積(m ²)	畦数	株	調査株数	
9.6	2	14	10	2

※試験区は同一品種・系統が隣接しないように設計した。

(4) その他補足事項

ア. 防除

ゼンターリ 1回、スピノエース 3回、コテツ 2回、アフアーム 3回、フェニックス 3回。

イ. 調査方法

株を抜取り、横幅 1 cm以上の脇芽収穫、直径・重量・規格内外を調査した。

ウ. 規格

充実結球のうち 2L=直径 3~3.5 cm、L=2.5~3 cm、M=2~2.5 cm、S=1~2 cm。

4. 供試品種

品種名	種苗会社
ダブリン	ベジヨー・ジャパン
スピーディア	
KM-9	増田採種場

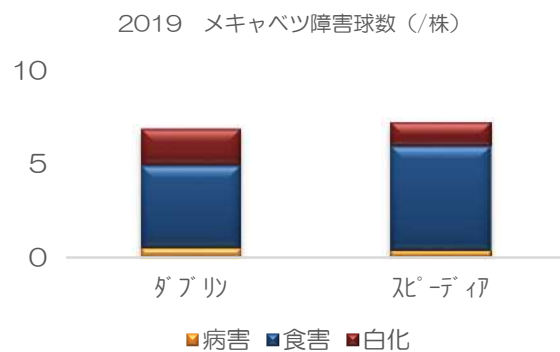
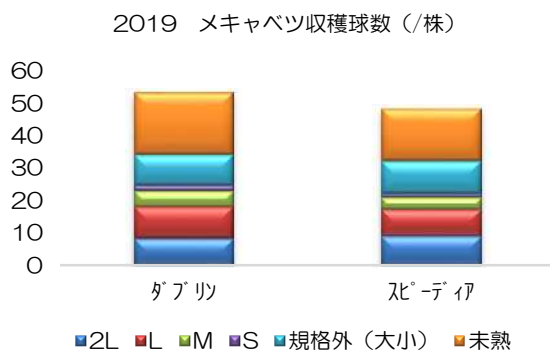
5. 試験結果概要

系統		ダブリン	スピーディア		KM-9		
粗反収	kg/10a	872		808		469	未熟含まず その他含む
着生数	個/株	38.1		34.6		32.4	未熟含まず その他含む
全個サイズ	個/株	%		%		%	未熟含まず その他含む
>2L	>3.5cm	20.1	52.8	17.8	51.3	10.6	32.8
2L	≥3cm	10.9	28.5	8.6	24.9	9.6	29.7
L	≥2.5cm	5.0	13.1	5.9	17.0	5.0	15.4
M	≥2cm	1.9	4.9	1.9	5.4	4.8	14.7
S	≥1cm	0.3	0.7	0.5	1.4	2.4	7.3
規格内率		66.3		55.4		48.1	未熟含む
規格外		%		%		%	未熟含む
未熟		12.6	24.9	11.9	25.5	21.6	40.0
白化		1.3	2.5	0.4	0.8	0.3	0.5
病害		0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.2
虫害		3.1	6.2	8.4	18.0	6.0	11.1

6. 考察

- (1) 未熟含めた脇芽の着生数は全体に1株当たり50個前後で、昨年と同様の傾向だった。
- (2) 「ダブリン」は「スピーディア」より収穫球数・規格内率ともやや多い傾向(昨年同様)。
- (3) 2Lを超えるサイズが多いが、高値の2Lサイズ率を増やす対策が求められる。

<参考>





8/4



11/9 収穫



1株1トレイ



「ダブリン」規格内品白化



未熟(硬さ不足)



白化



虫害



“メキャベツの素揚げ”